

## 6 環境学習について（問 29～33、報告書 p.140～159）

### 【結果概要】

#### ①担当課

琵琶湖環境部 環境政策課 環境政策担当

#### ②調査目的

環境学習および環境保全行動の実施状況、「持続可能な開発のための教育（ESD）」の認知度、滋賀県における環境学習のあるべき姿の現状についての意識調査を行うことにより、滋賀県環境学習推進計画の改定や環境学習施策の立案の基礎資料とする。

また、滋賀県立琵琶湖博物館がどんなところなら何度も行きたくなるか、その理由について調査を行うことにより、県民が琵琶湖博物館に期待することを把握し、今後リニューアル内容、イベント、広報などを検討する際に活用する。

#### ③調査結果の分析・考察

- 環境学習の実施状況（問29、p.140）では、『行っている』が25.2%、『行っていない』が72.2%となっている。その理由（問29付問1、p.141）については、「どうしていいかわからない」「仕事や家事などで時間がない」「どこでどんな環境学習が実施されているか(活動の機会があるのか)などの情報がない(少ない)」が上位3つを占めており、環境学習の機会や方法の情報提供の充実を図ることが課題といえる。一方、環境保全行動の実施状況（問30、p.144）では、『行っている』が66.5%となっており、平成20年度の46.1%、平成24年度の56.7%と増加傾向が見られる。
- 「持続可能な開発のための教育（ESD）」の認知度（問31、p.148）では、「ESDは知らなかったし、特にESDに関連した取組もしていない」が54.0%で最も高い。考え方を『理解している』と回答した割合は14.2%、関連した『取組をしている』は29.7%にとどまっている。これらのことから、現状ではESDの考え方はあまり認知されておらず、その取組もあまりなされていないことがうかがえる。
- 滋賀県における環境学習のあるべき姿の現状（問32、p.150）では、『進んでいる』割合が比較的高いのは、「体験を通じた学びが重要であるということ認識して取り組まれる」（38.3%）、「日常の生活の場である地域に根ざし、地域の特徴を活かして取り組まれる」（38.1%）となった。一方、『進んでいない』割合が高いのは、「幅広い分野を対象とし、多角的、体系的、総合的に進められる」（61.0%）、「すべての県民によって主体的に取り組まれる」（58.6%）となった。
- 滋賀県立琵琶湖博物館に求めるリニューアル内容（問33、p.157）では、「行くたびに新しい発見があって楽しめる場所」が63.9%で最も高く、次いで、「子どもや年配者などを安心して連れていける場所」が48.0%となった。これらのことから、来館の度に新たな発見がある、タイムリーな展示や、様々な利用者が安心して楽しめる施設になることが求められていることがうかがえる。

#### ④今後の施策への反映

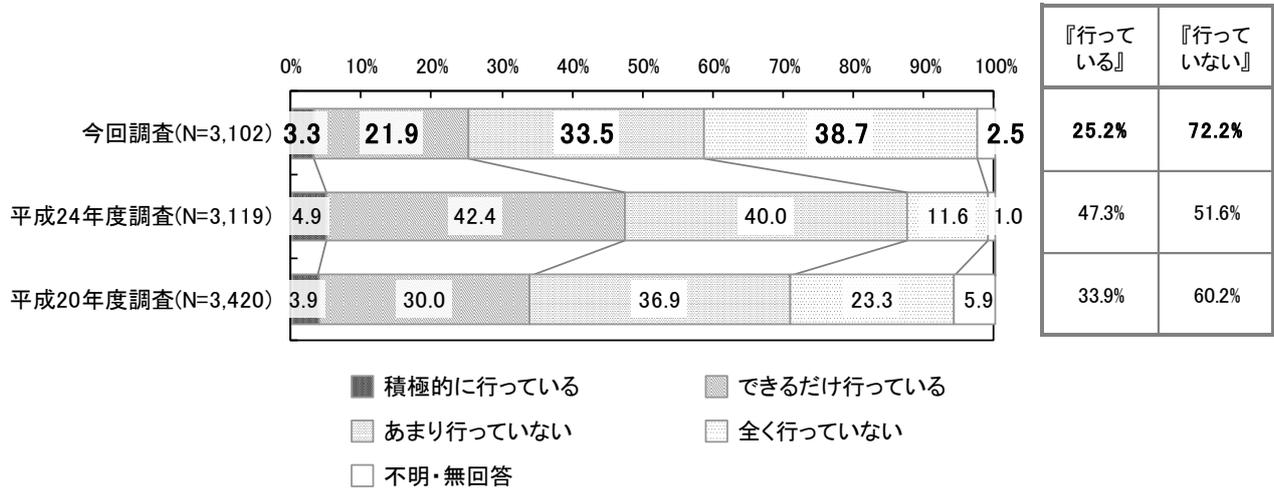
今回の調査結果から、環境学習などに関する県民の行動状況や課題をうかがうことができた。これらの結果は、滋賀県環境審議会環境企画部会で報告するとともに、第二次滋賀県環境学習推進計画の改定等や琵琶湖博物館リニューアルの参考資料として活用していく。

【結果表・グラフ】

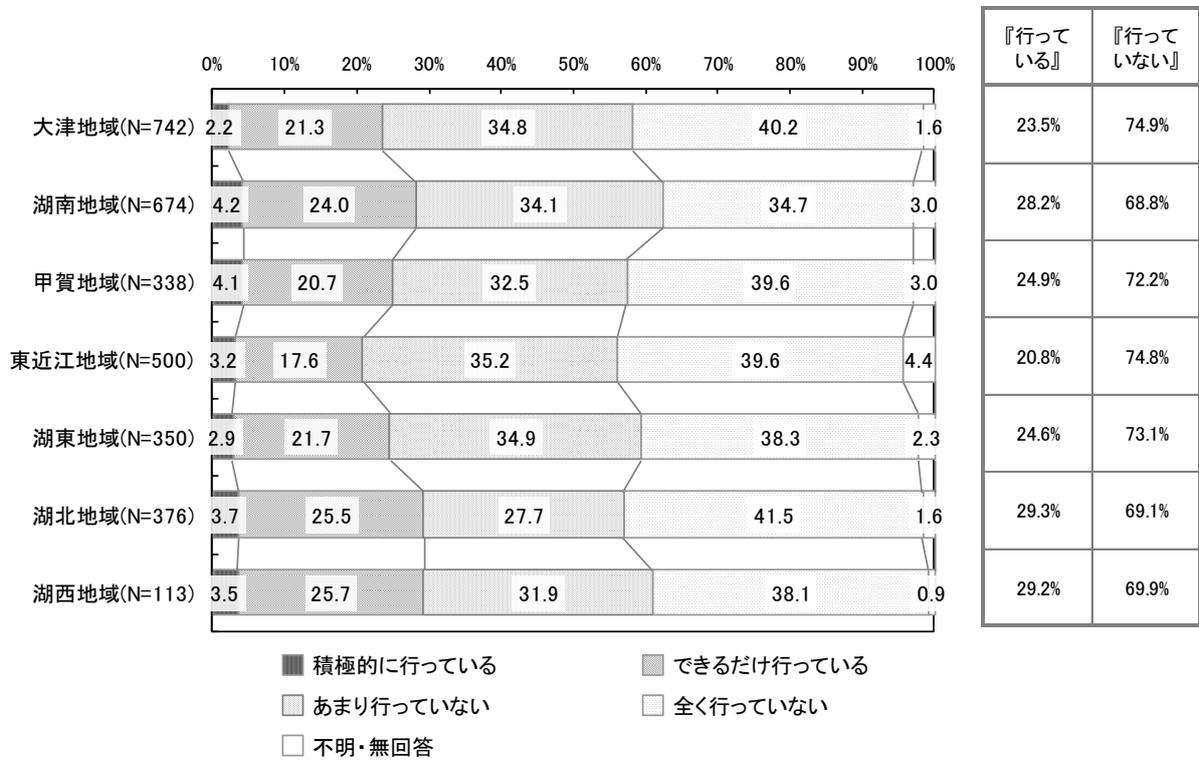
(1) 環境学習および環境保全行動の実施状況

問29 あなたは、日頃、環境学習を行っていますか。(〇は1つだけ)

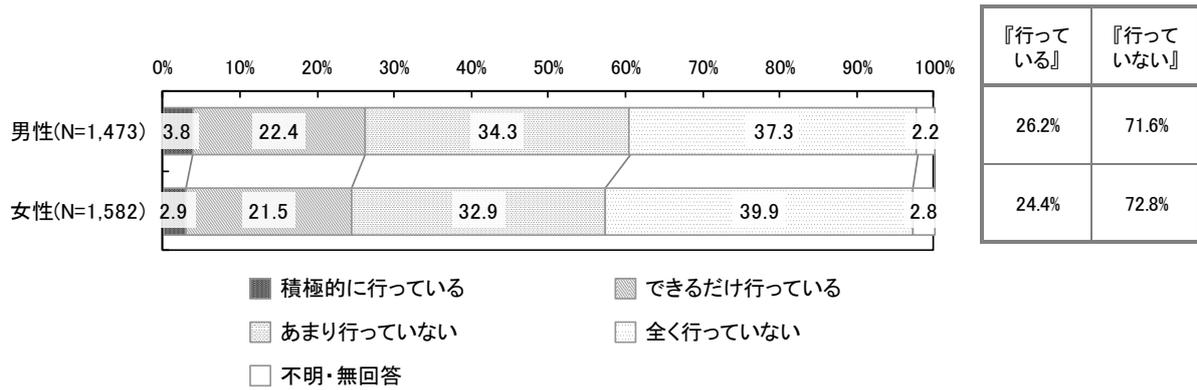
※『行っている』:「積極的に行っている」と「できるだけ行っている」の合計  
 ※『行っていない』:「あまり行っていない」と「全く行っていない」の合計



【地域別】

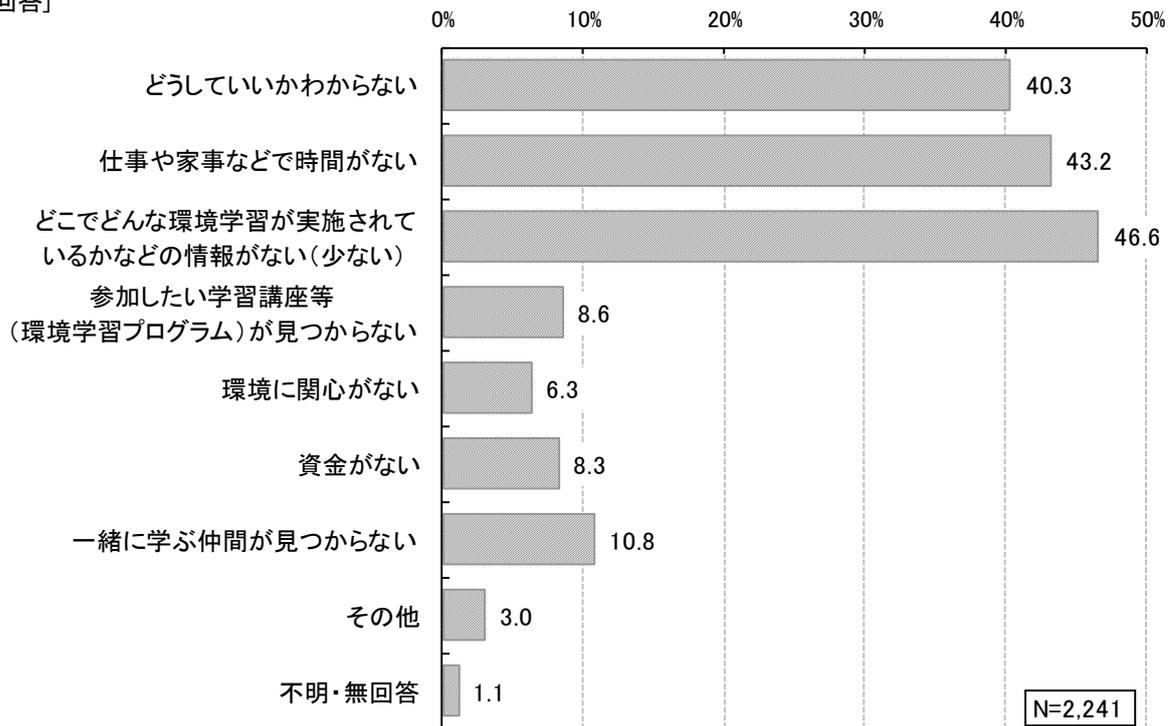


【性別】



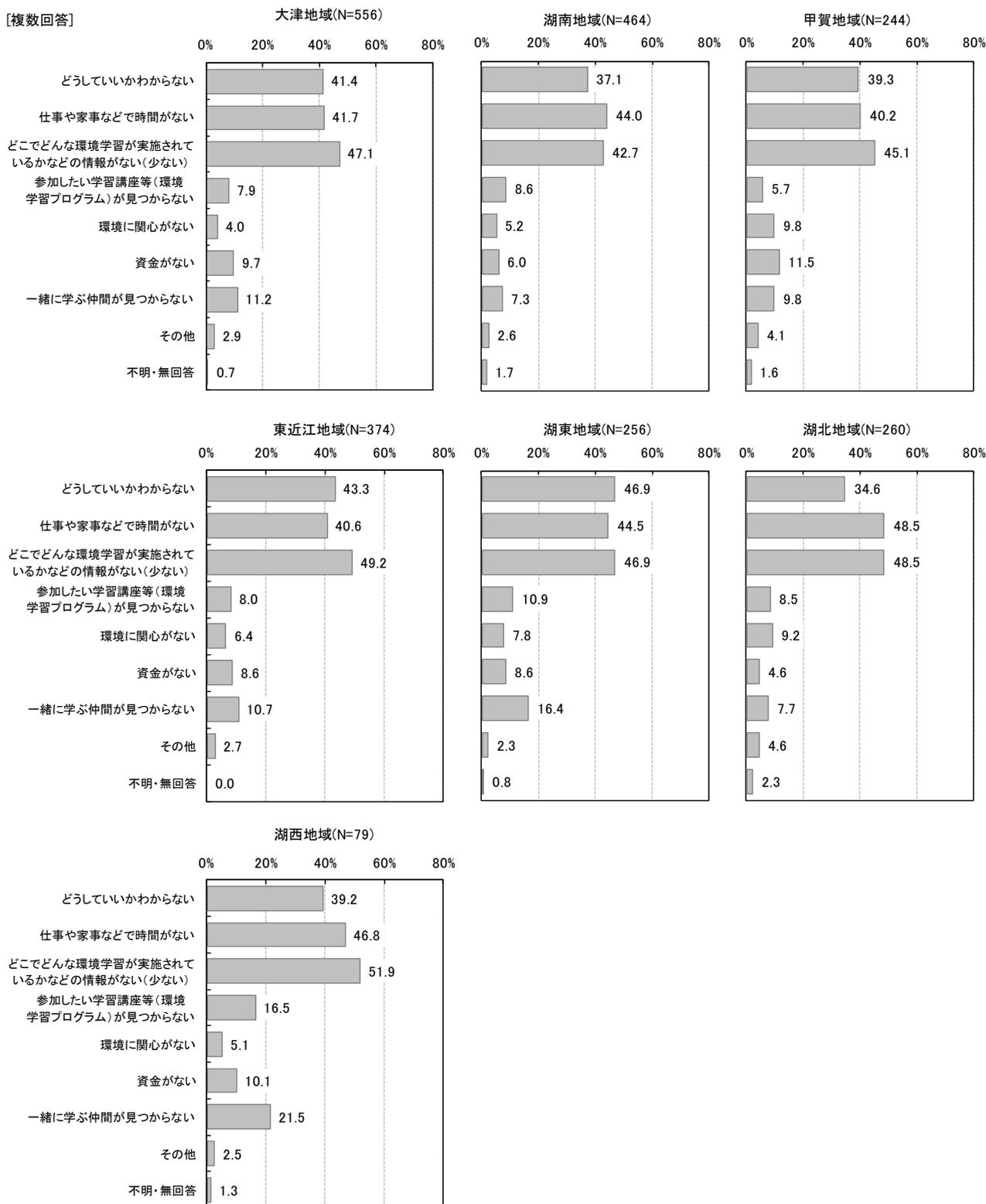
付問1 問29の「環境学習」で「3 あまり行っていない」または「4 全く行っていない」と回答された方におたずねします。その理由を次から選んで下さい。  
(○はいくつでも)

[複数回答]



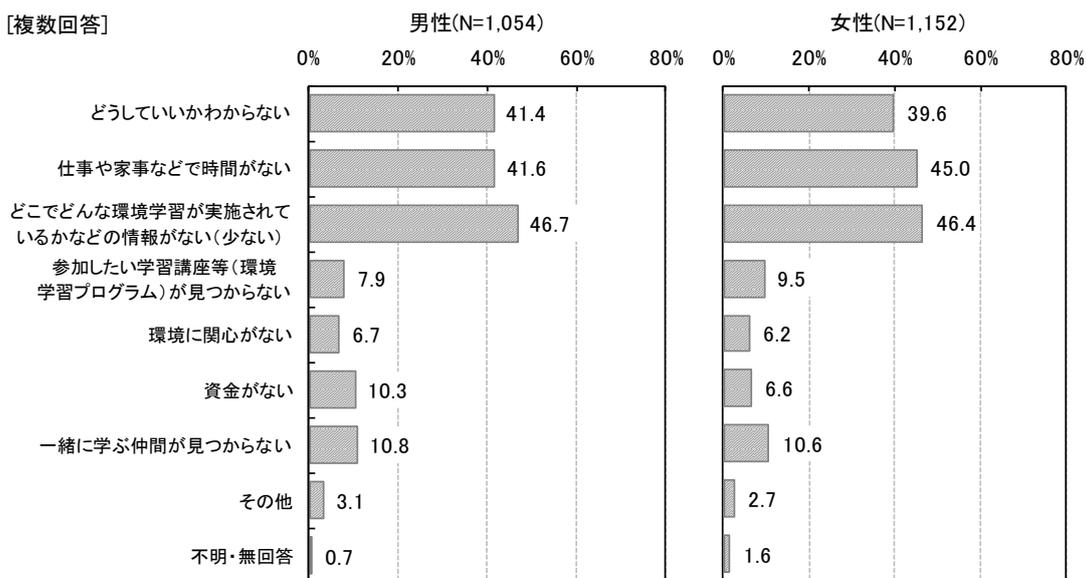
## 【地域別】

[複数回答]



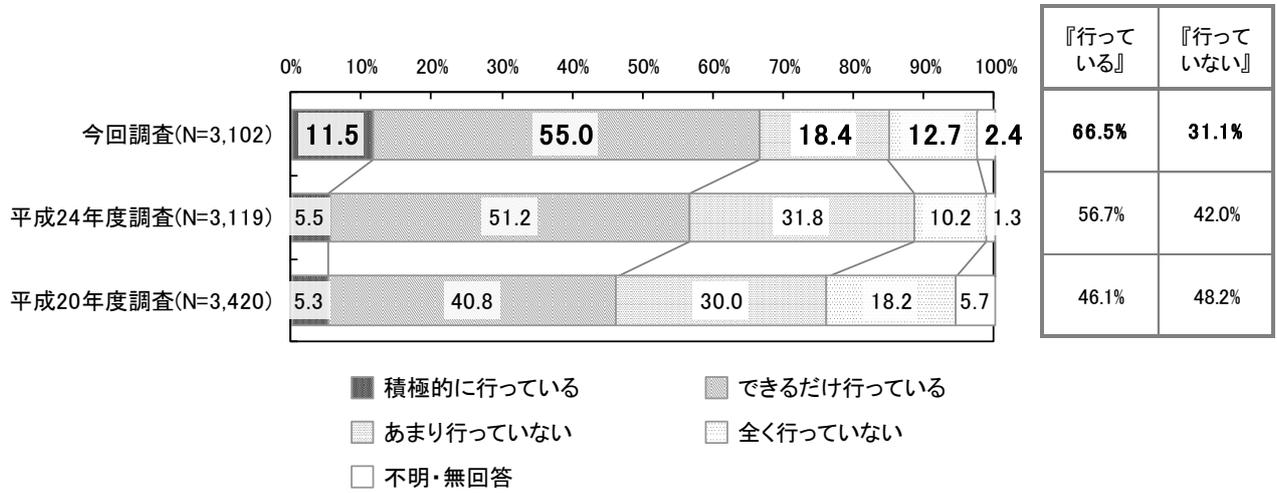
## 【性別】

[複数回答]

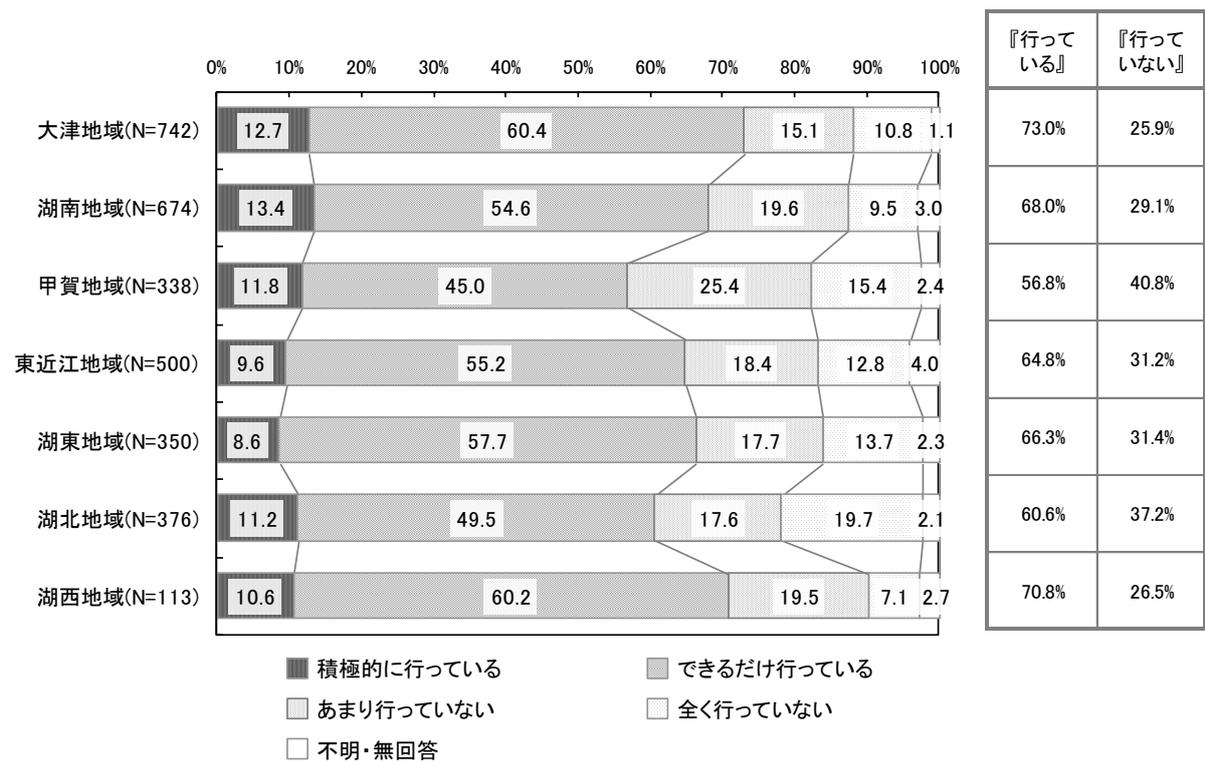


問30 あなたは、日頃、環境保全行動を行っていますか。(〇は1つだけ)

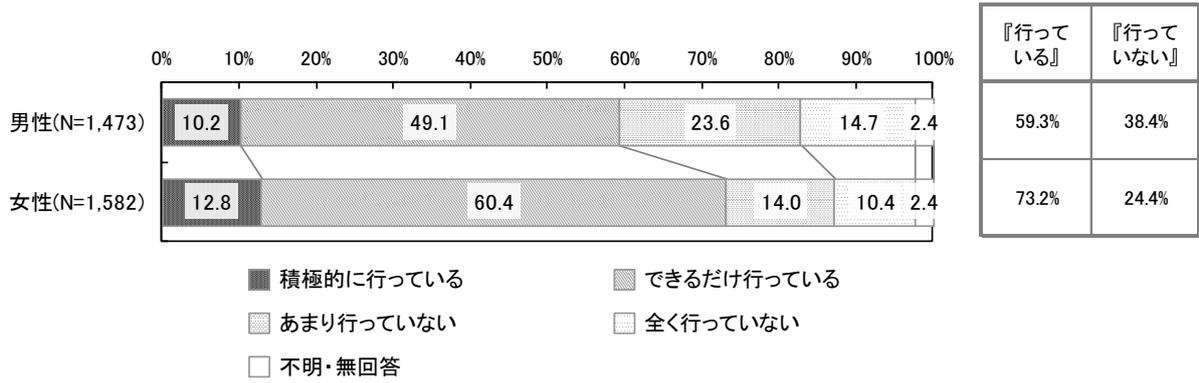
※『行っている』:「積極的に行っている」と「できるだけ行っている」の合計  
 ※『行っていない』:「あまり行っていない」と「全く行っていない」の合計



【地域別】

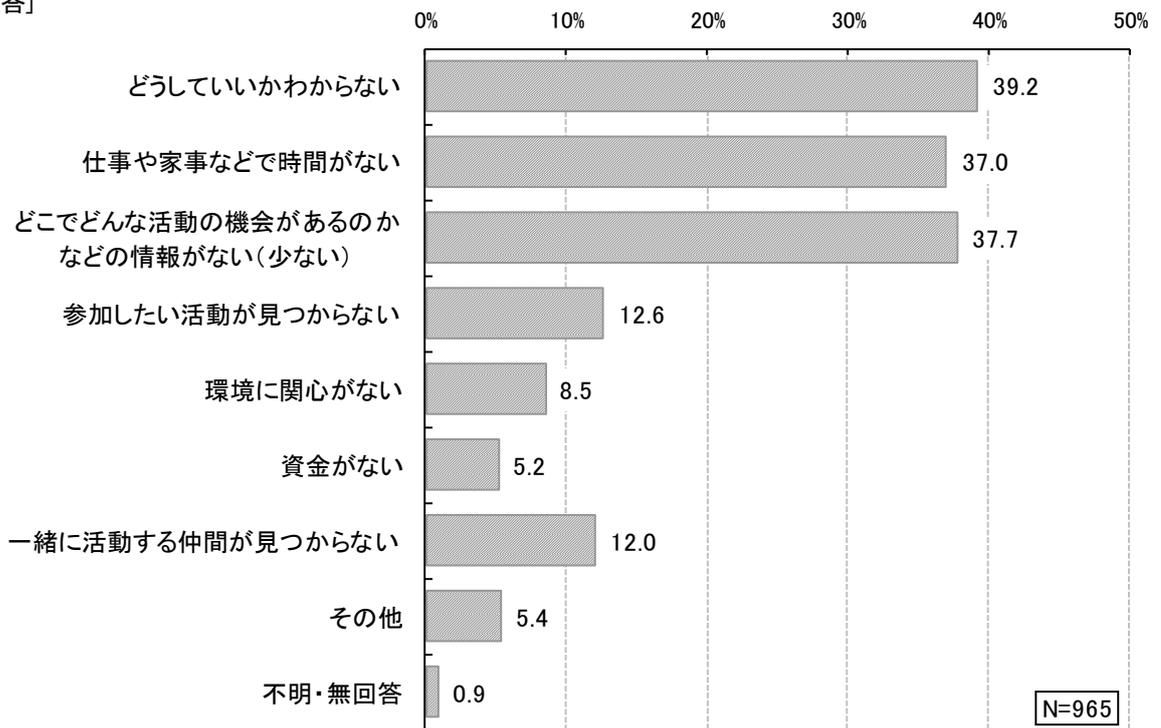


【性別】



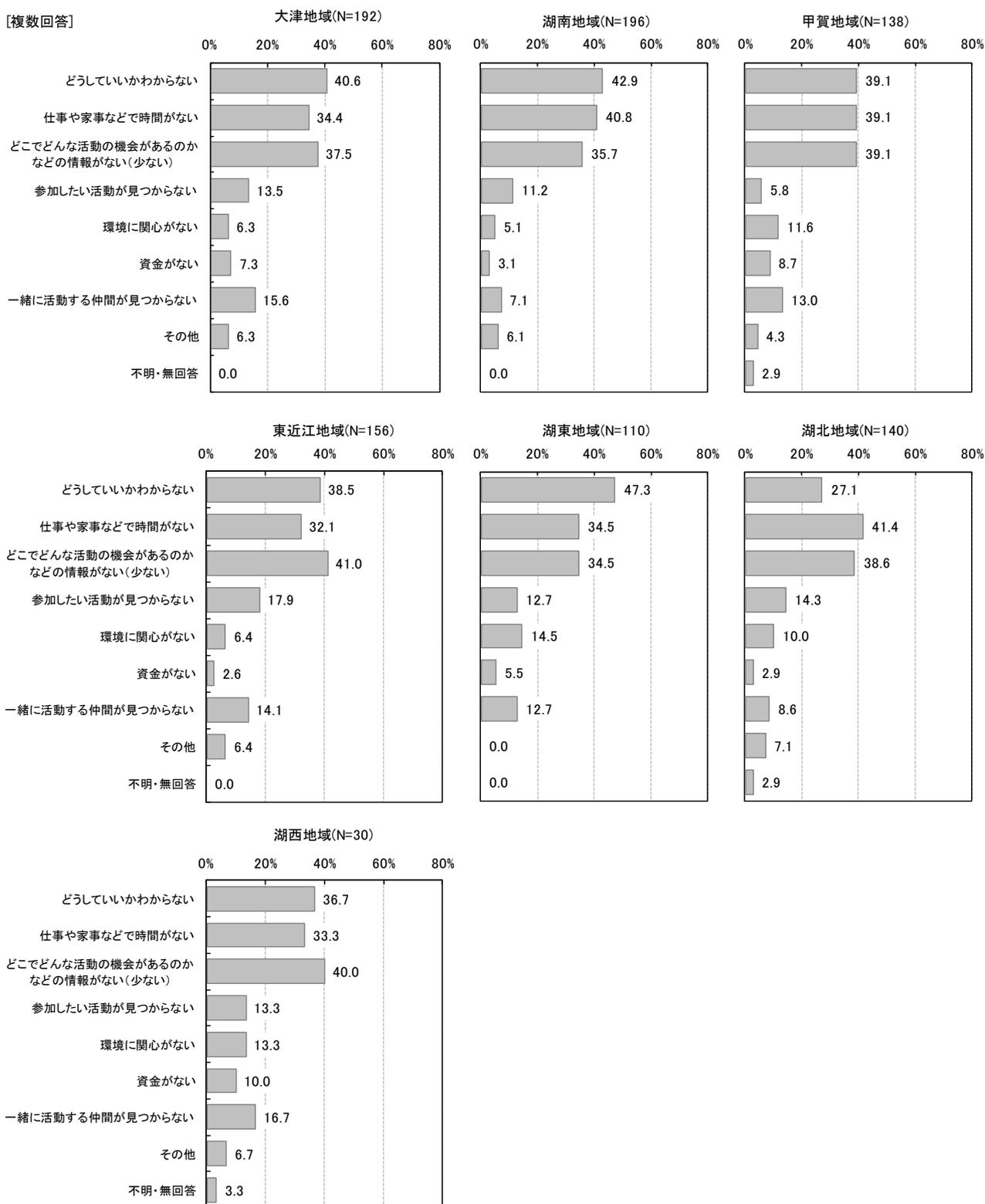
付問1 問30の「環境保全行動」で「3 あまり行っていない」または「4 全く行っていない」と回答された方におたずねします。その理由を次から選んで下さい。(〇はいくつでも)

[複数回答]



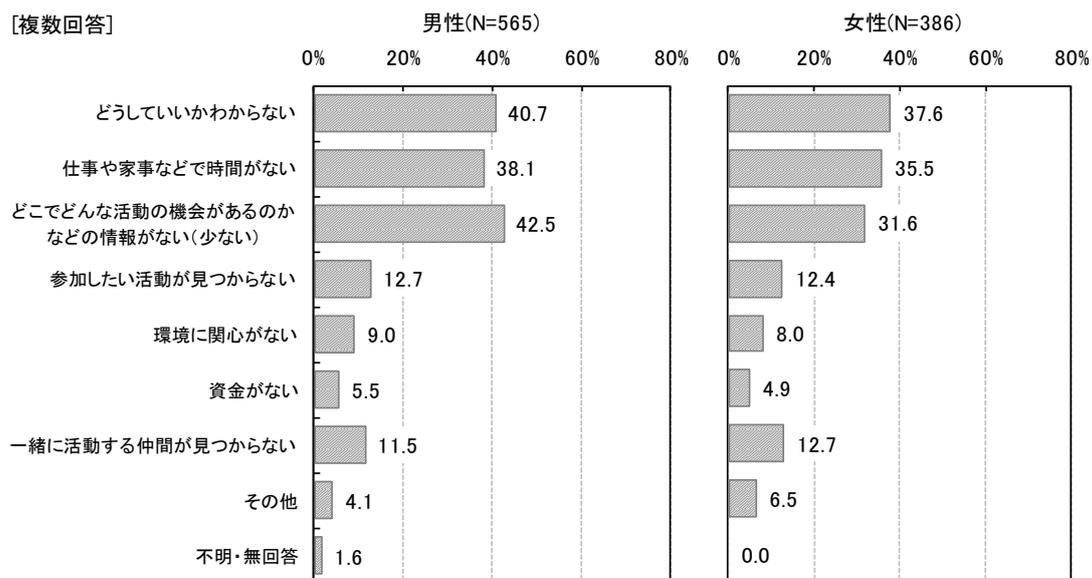
## 【地域別】

[複数回答]



## 【性別】

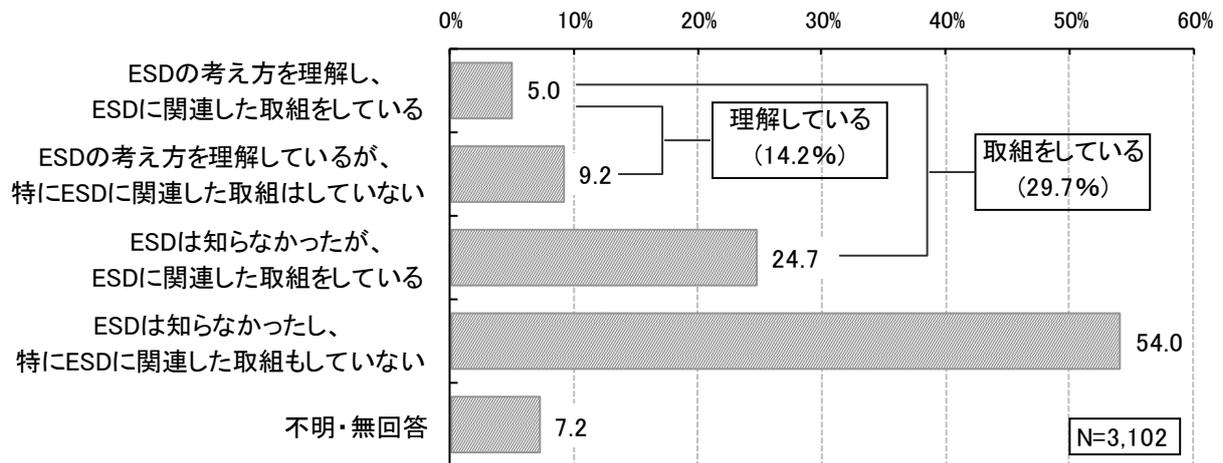
[複数回答]



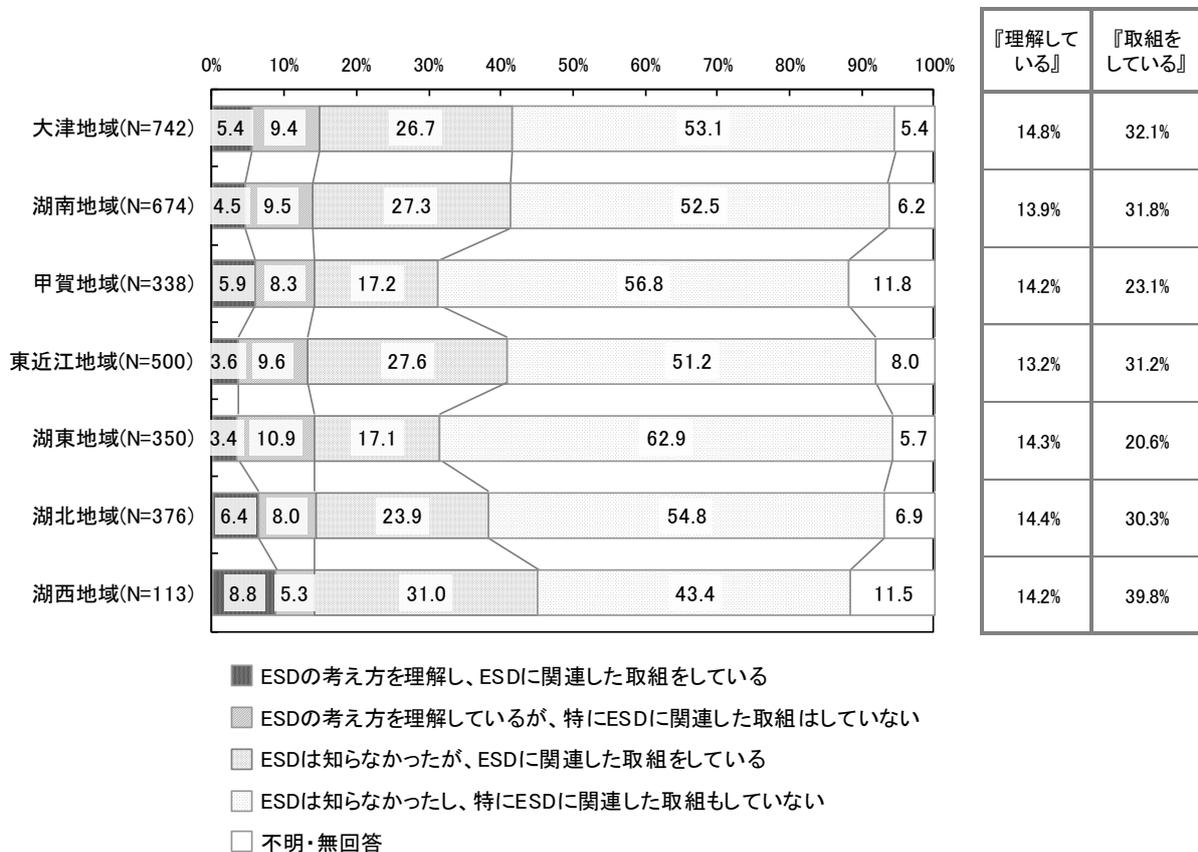
(2) 「持続可能な開発のための教育 (ESD)」の認知度

問31 あなたは、「持続可能な開発のための教育 (ESD)」という言葉を知っていますか。  
(○は1つだけ)

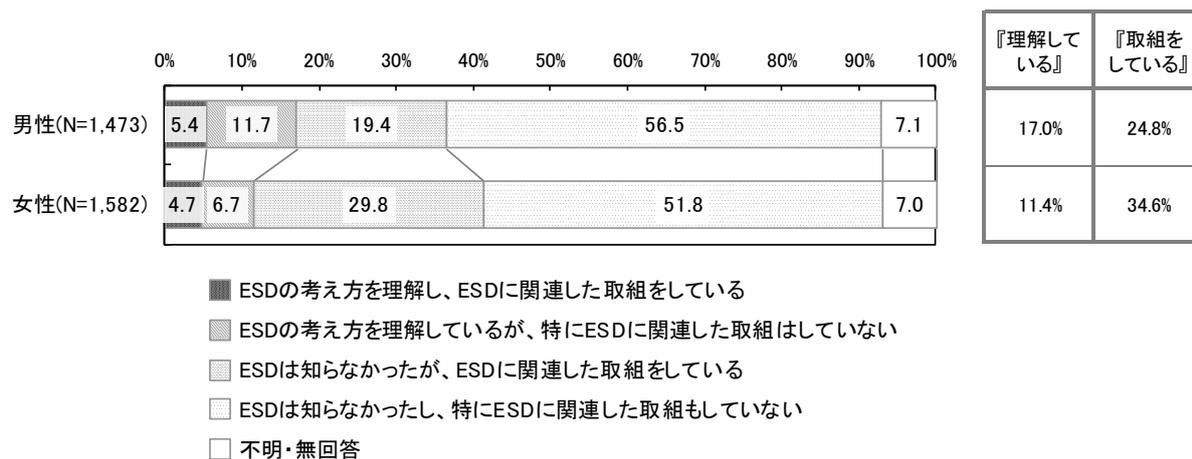
※『理解している』:「ESDの考え方を理解し、ESDに関連した取組をしている」と「ESDの考え方を理解しているが、特にESDに関連した取組はしていない」の合計  
 ※『取組をしている』:「ESDの考え方を理解し、ESDに関連した取組をしている」と「ESDは知らなかったが、ESDに関連した取組をしている」の合計



【地域別】



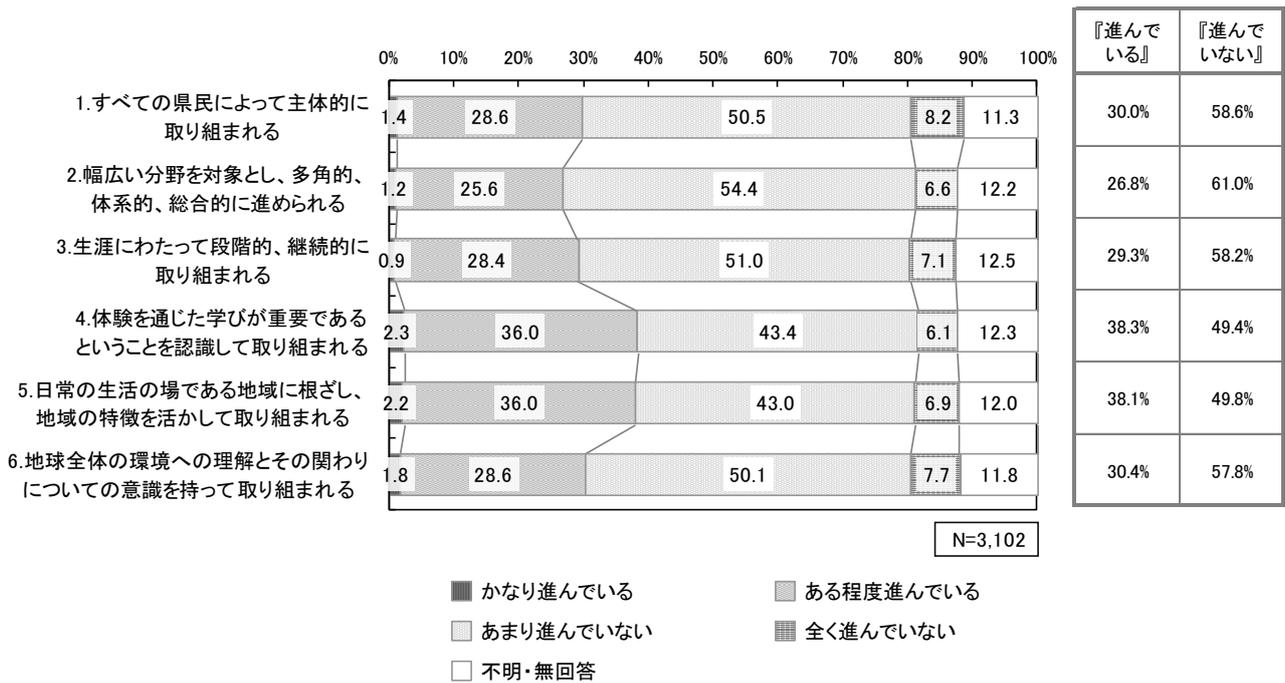
【性別】



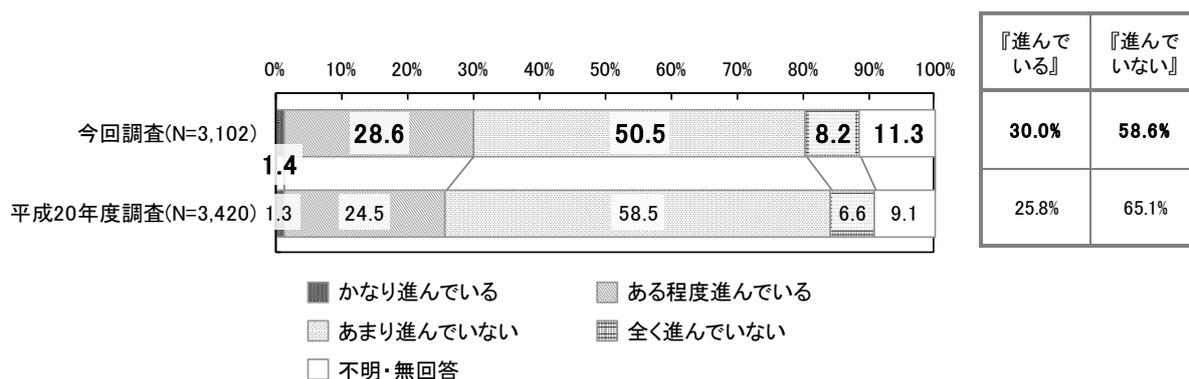
(3) 滋賀県における環境学習のあるべき姿の現状

問32 県では、滋賀県における環境学習のあるべき姿として下の6項目をあげていますが、これらについて、現状をどのようにお考えですか。1～6のそれぞれの項目について、右の欄の1～4の中から当てはまるものを選んでください。  
(○はそれぞれ1つずつ)

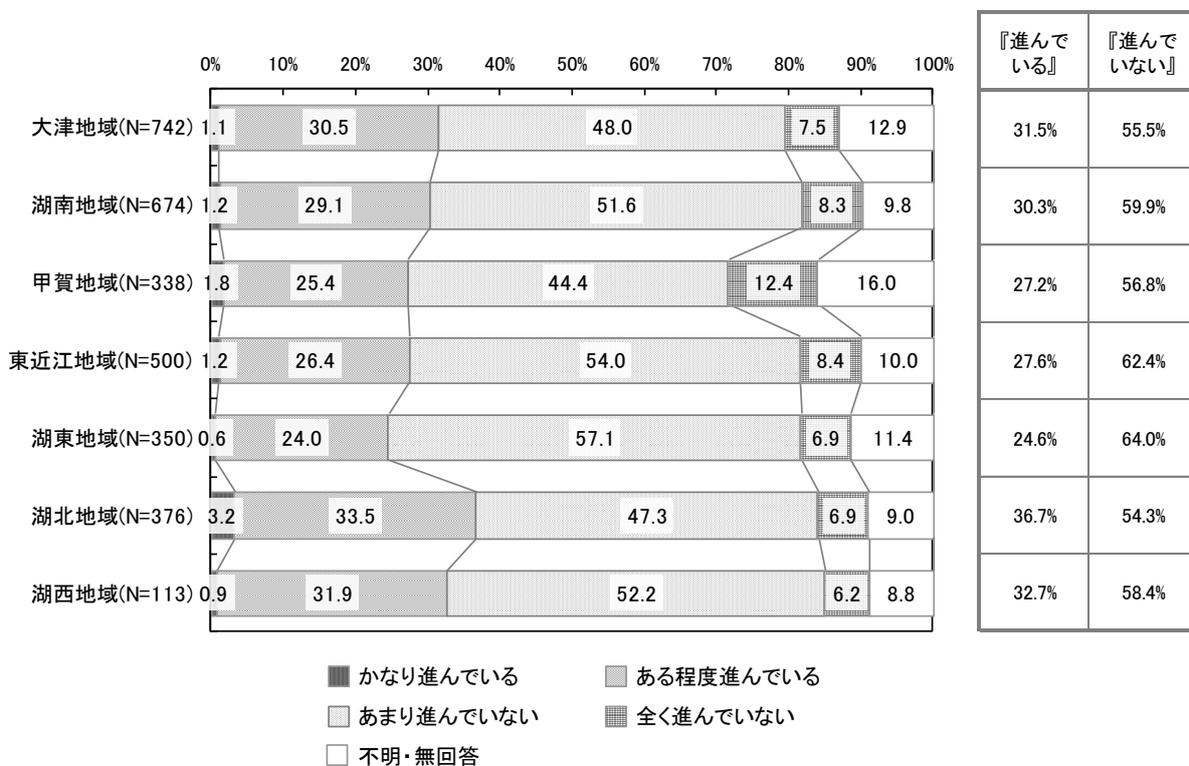
※『進んでいる』:「かなり進んでいる」と「ある程度進んでいる」の合計  
 ※『進んでいない』:「あまり進んでいない」と「全く進んでいない」の合計



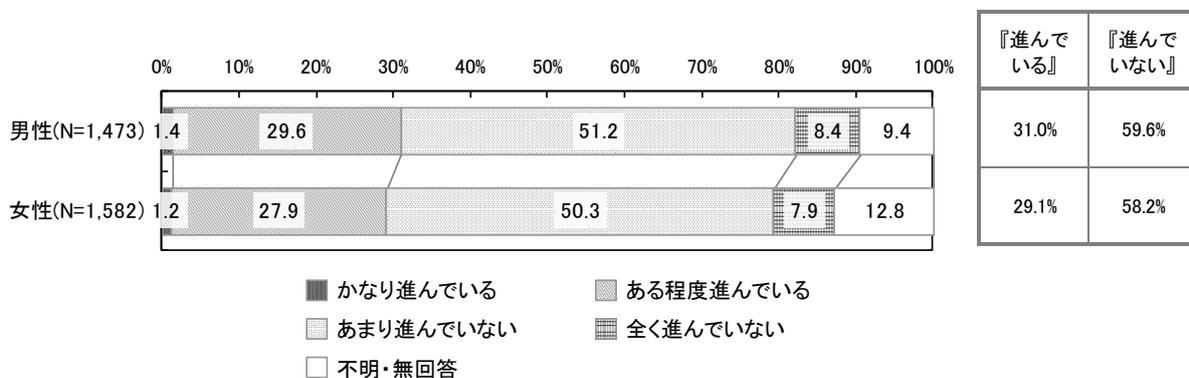
①すべての県民によって主体的に取り組まれる



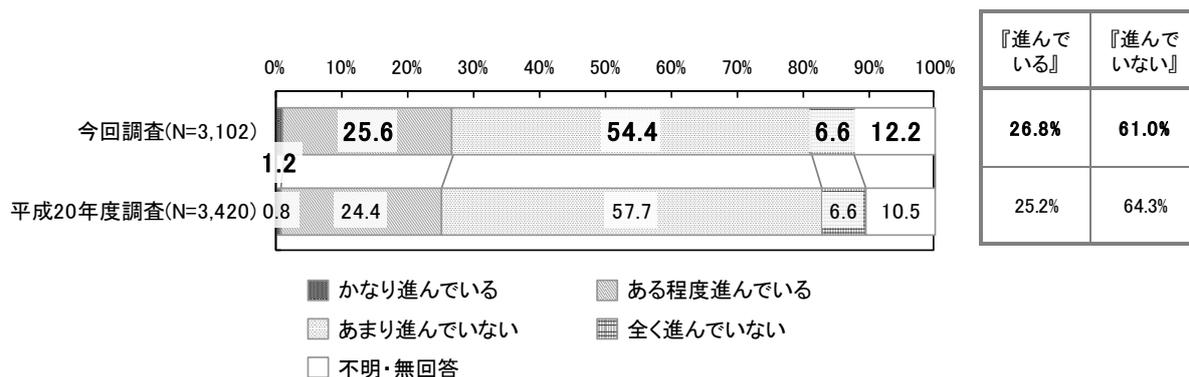
【地域別】



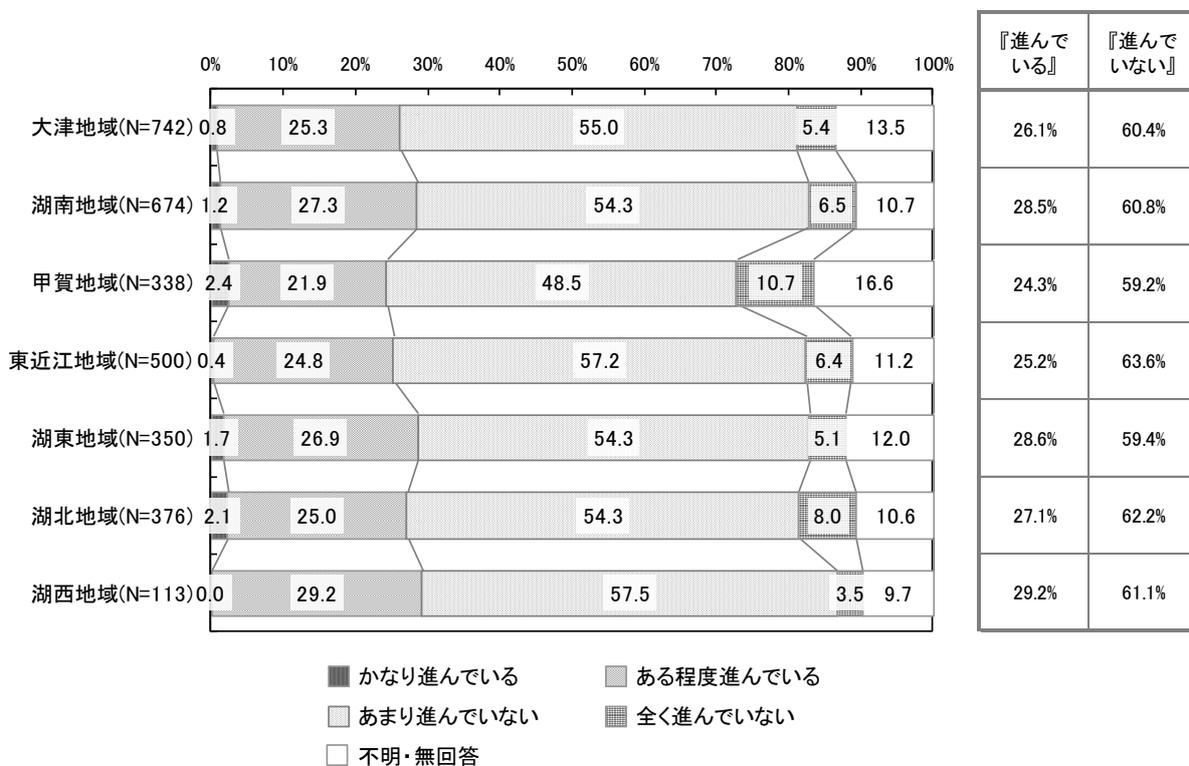
【性別】



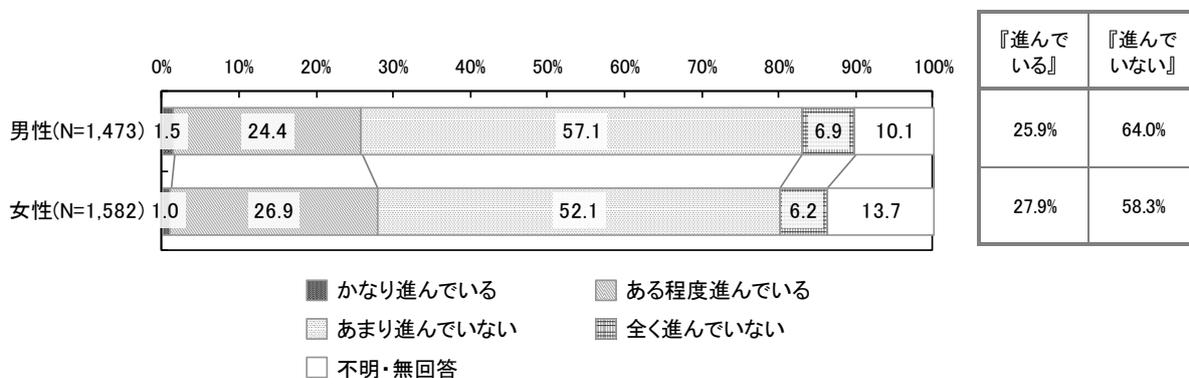
②幅広い分野を対象とし、多角的、体系的、総合的に進められる



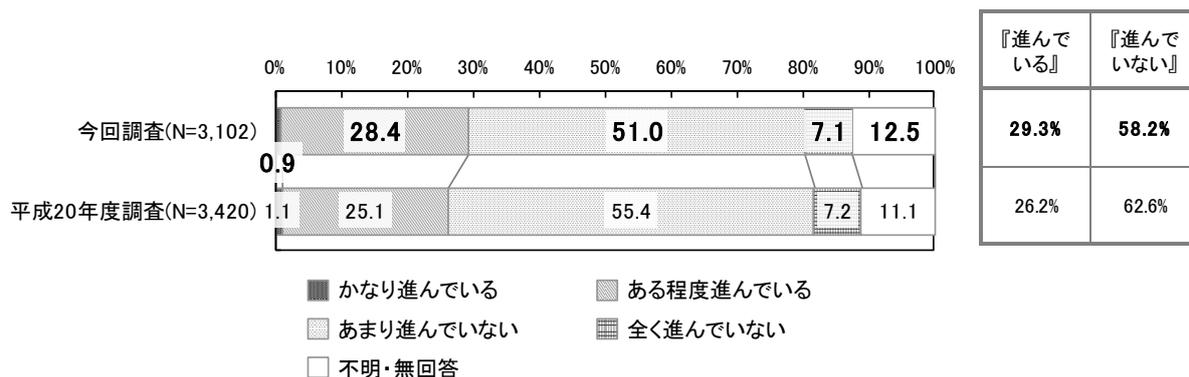
【地域別】



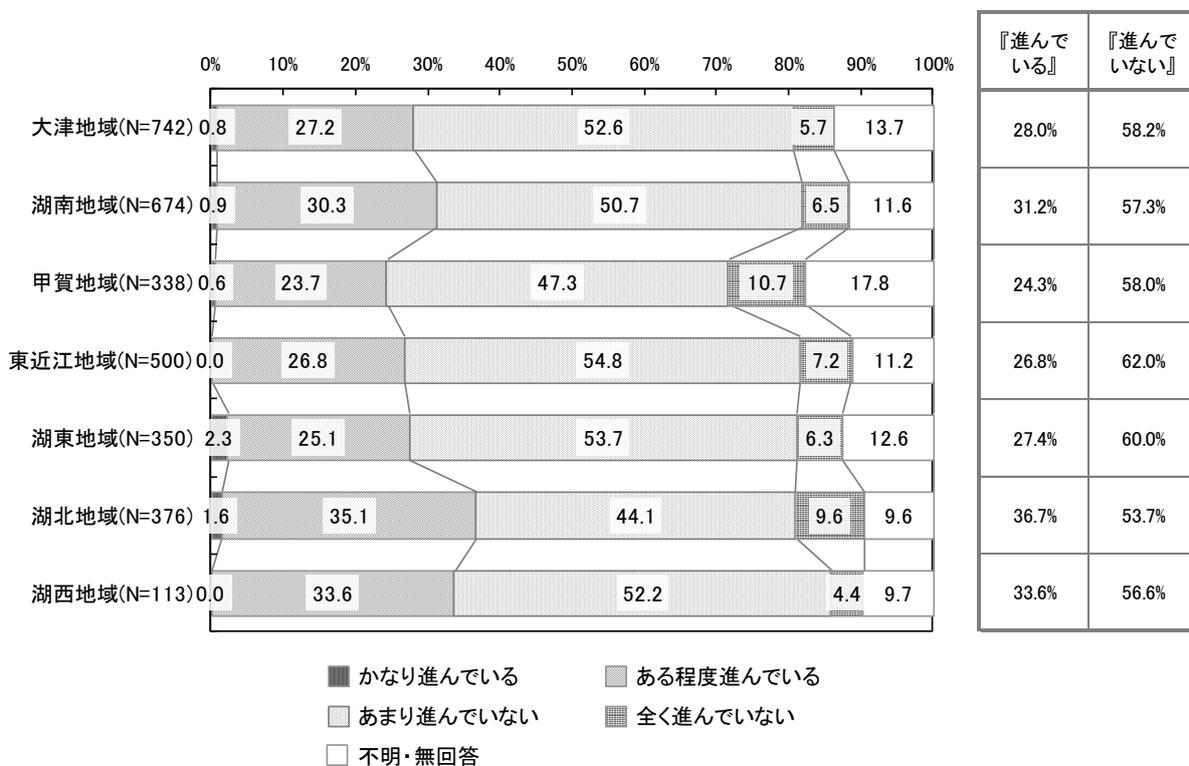
【性別】



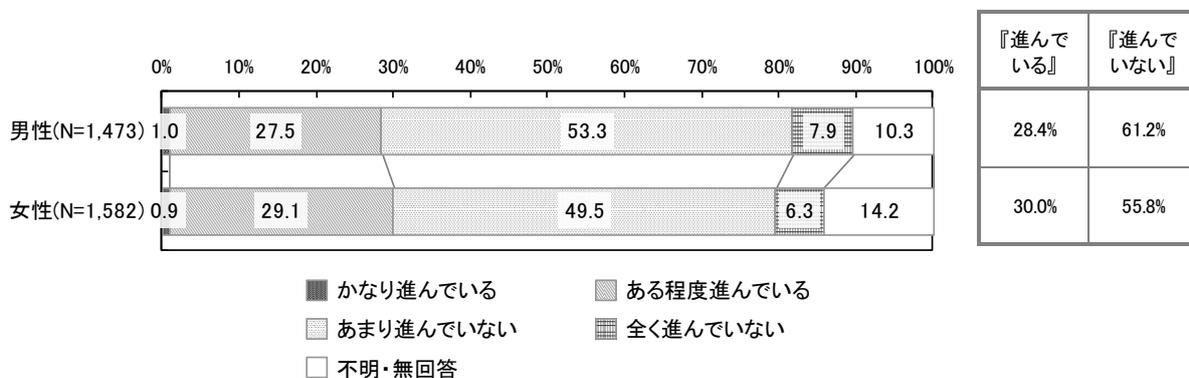
### ③生涯にわたって段階的、継続的に取り組まれる



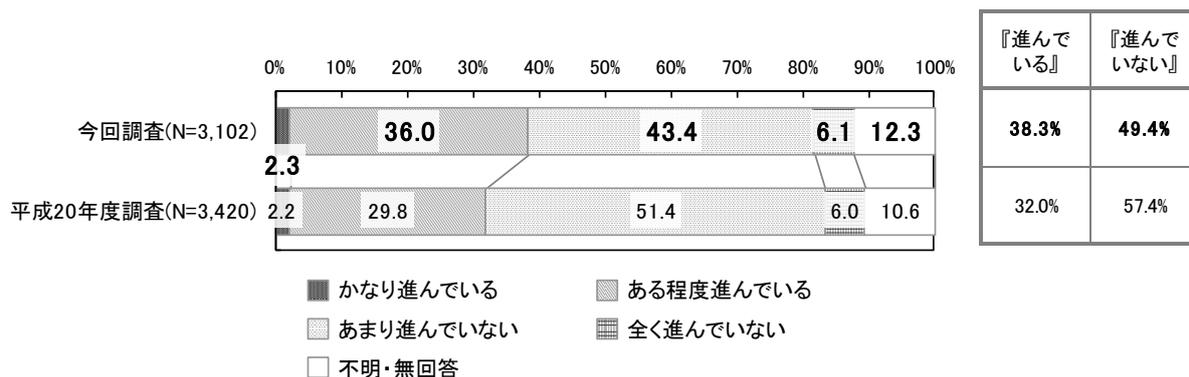
### 【地域別】



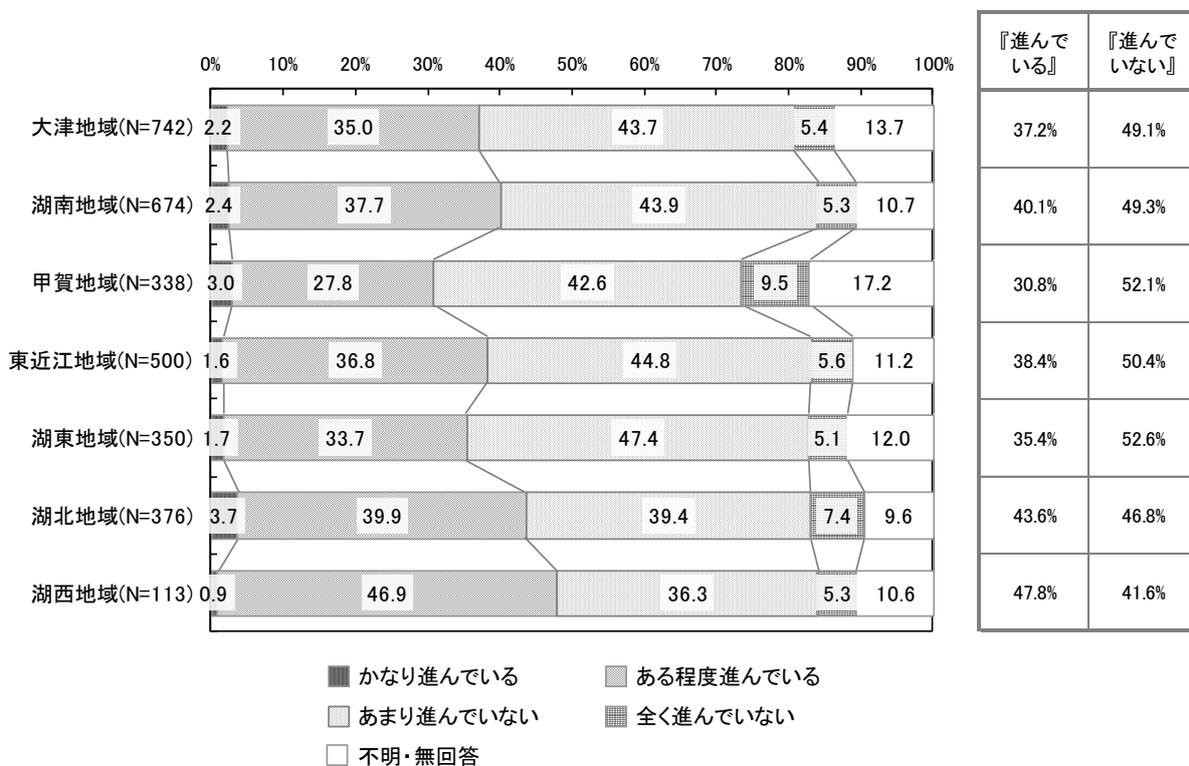
### 【性別】



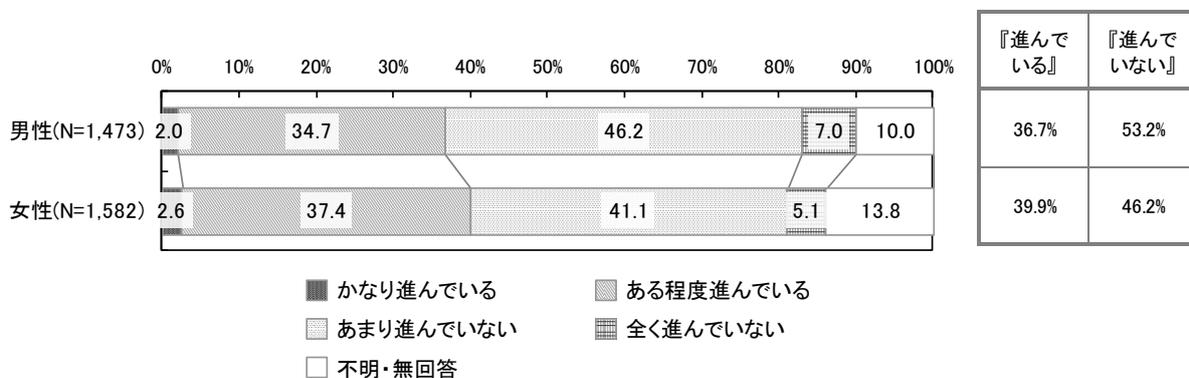
④体験を通じた学びが重要であるということを認識して取り組まれる



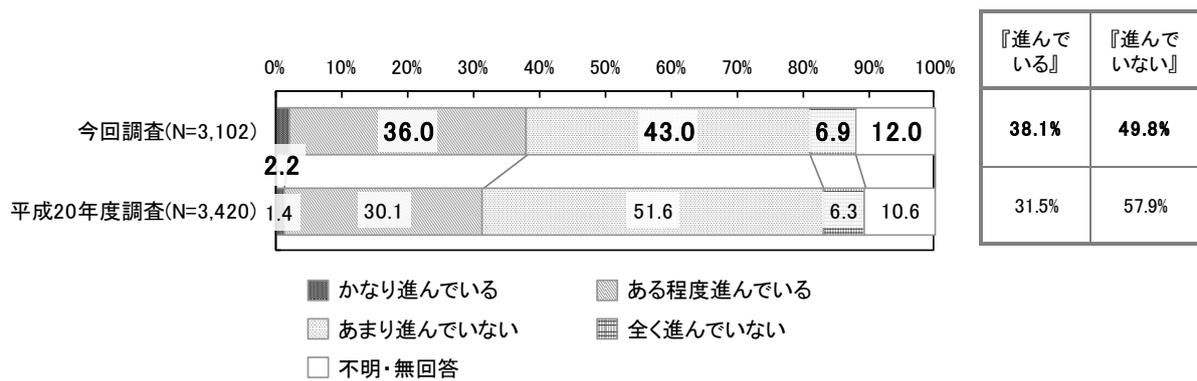
【地域別】



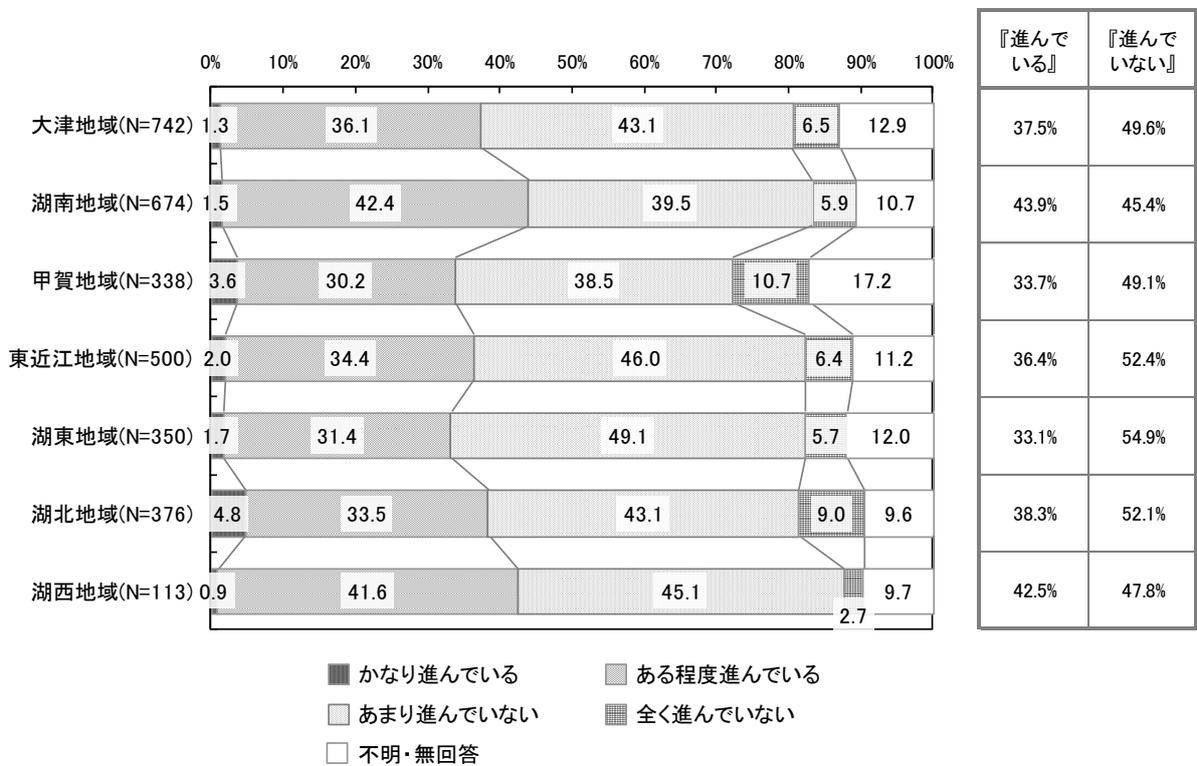
【性別】



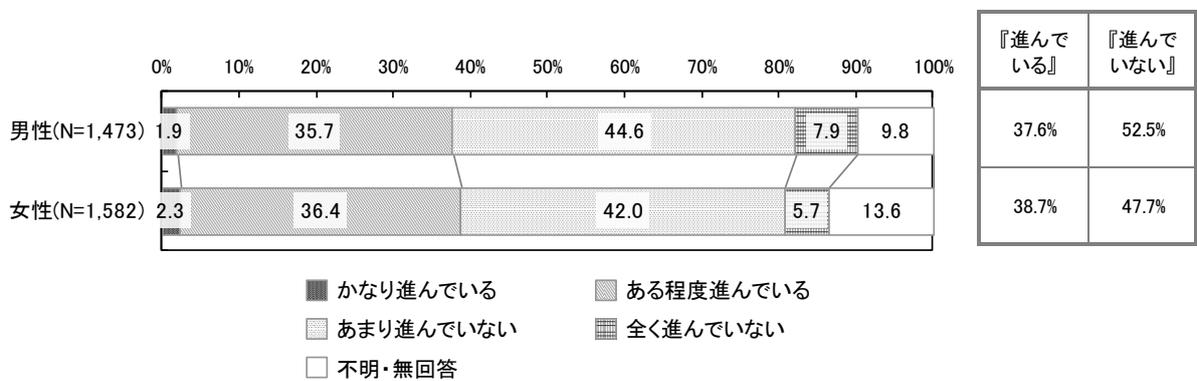
⑤ 日常の生活の場である地域に根ざし、地域の特徴を生かして取り込まれる



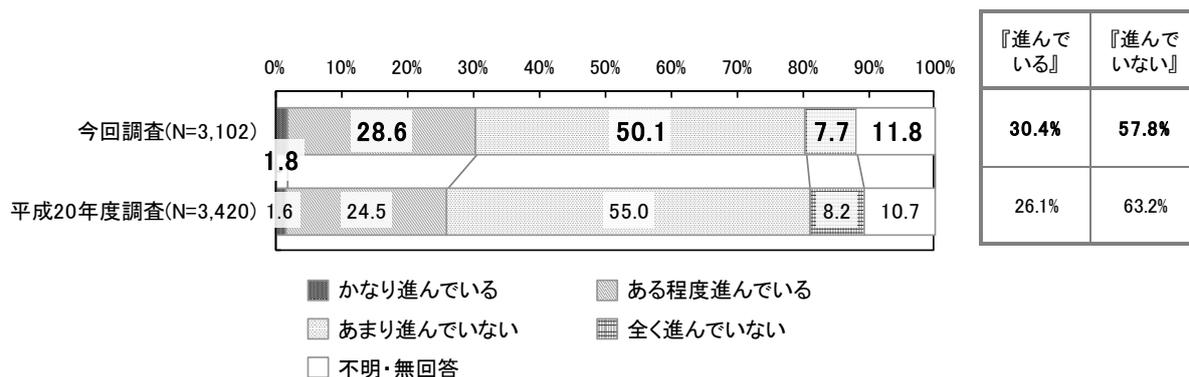
【地域別】



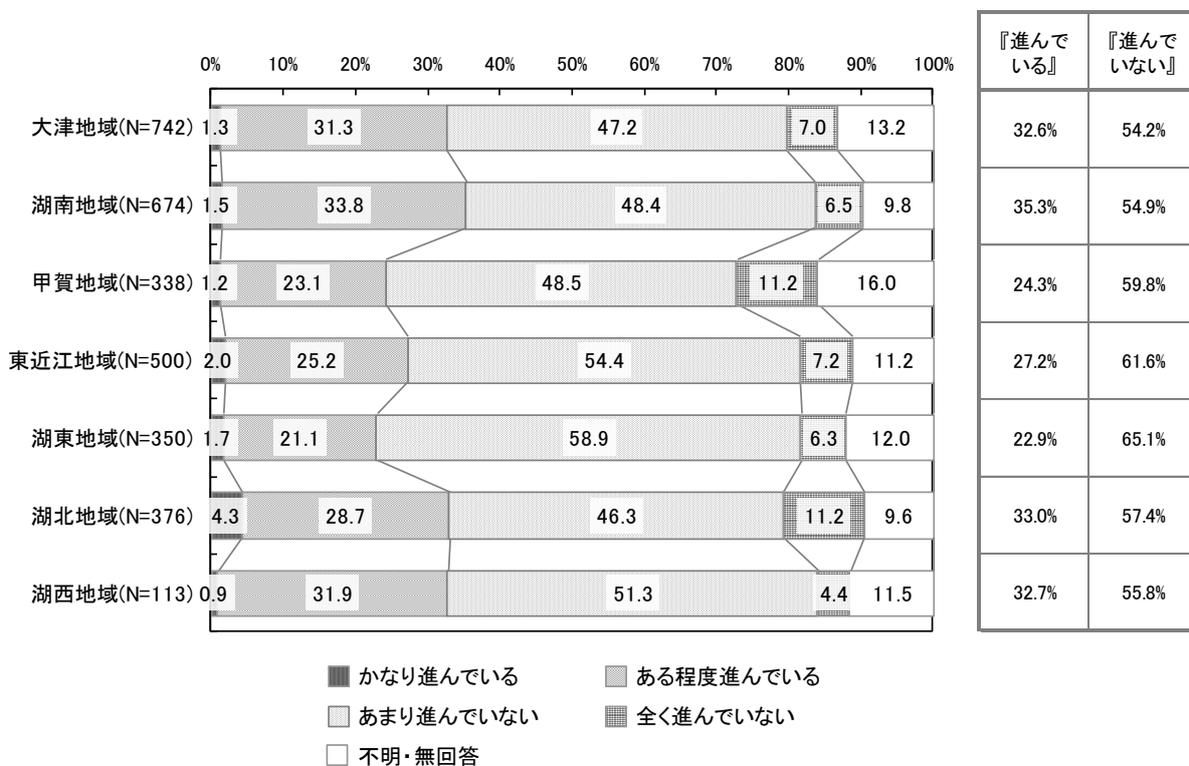
【性別】



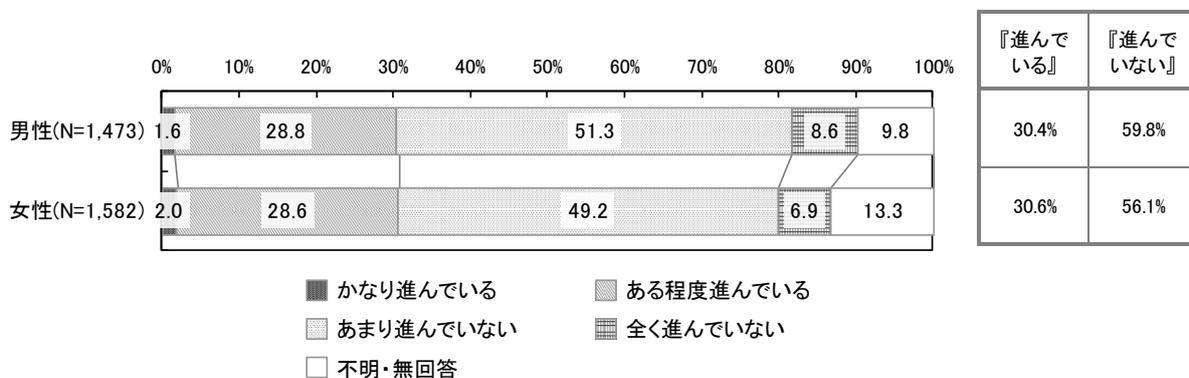
⑥地球全体の環境への理解とその関わりについての意識を持って取り組まれる



【地域別】



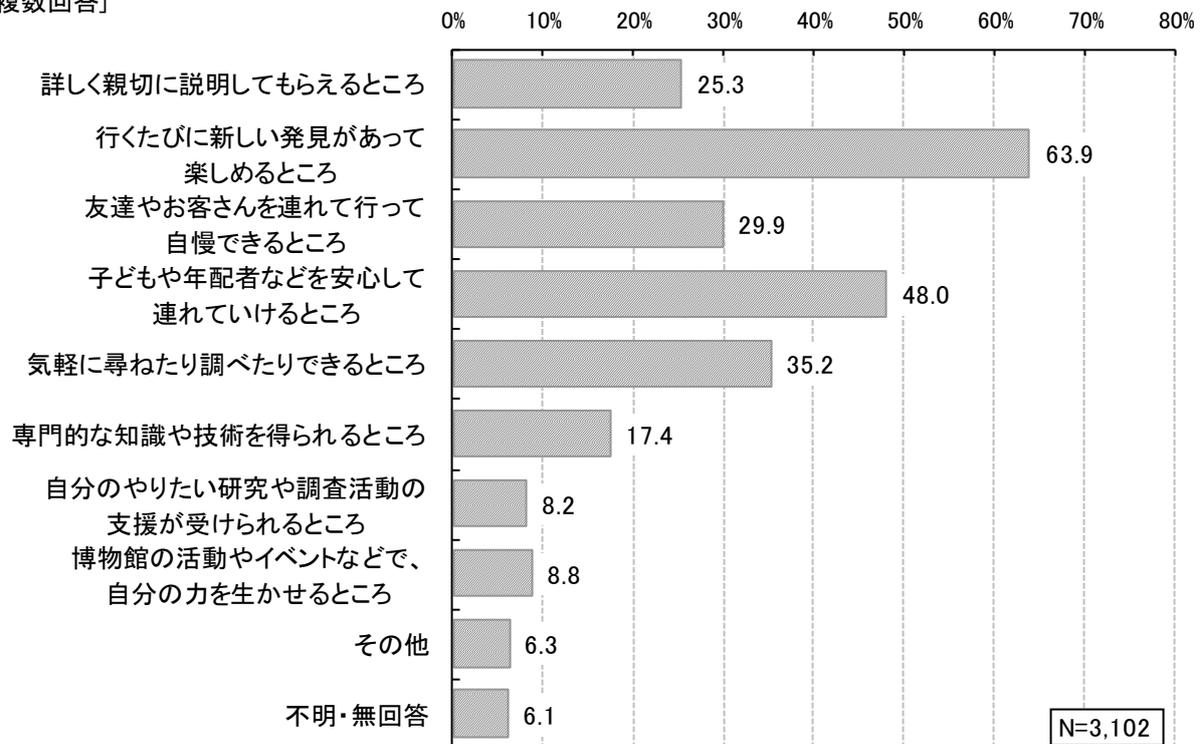
【性別】



(4) 県立琵琶湖博物館がどんなところなら何度も行きたくなるか、その理由

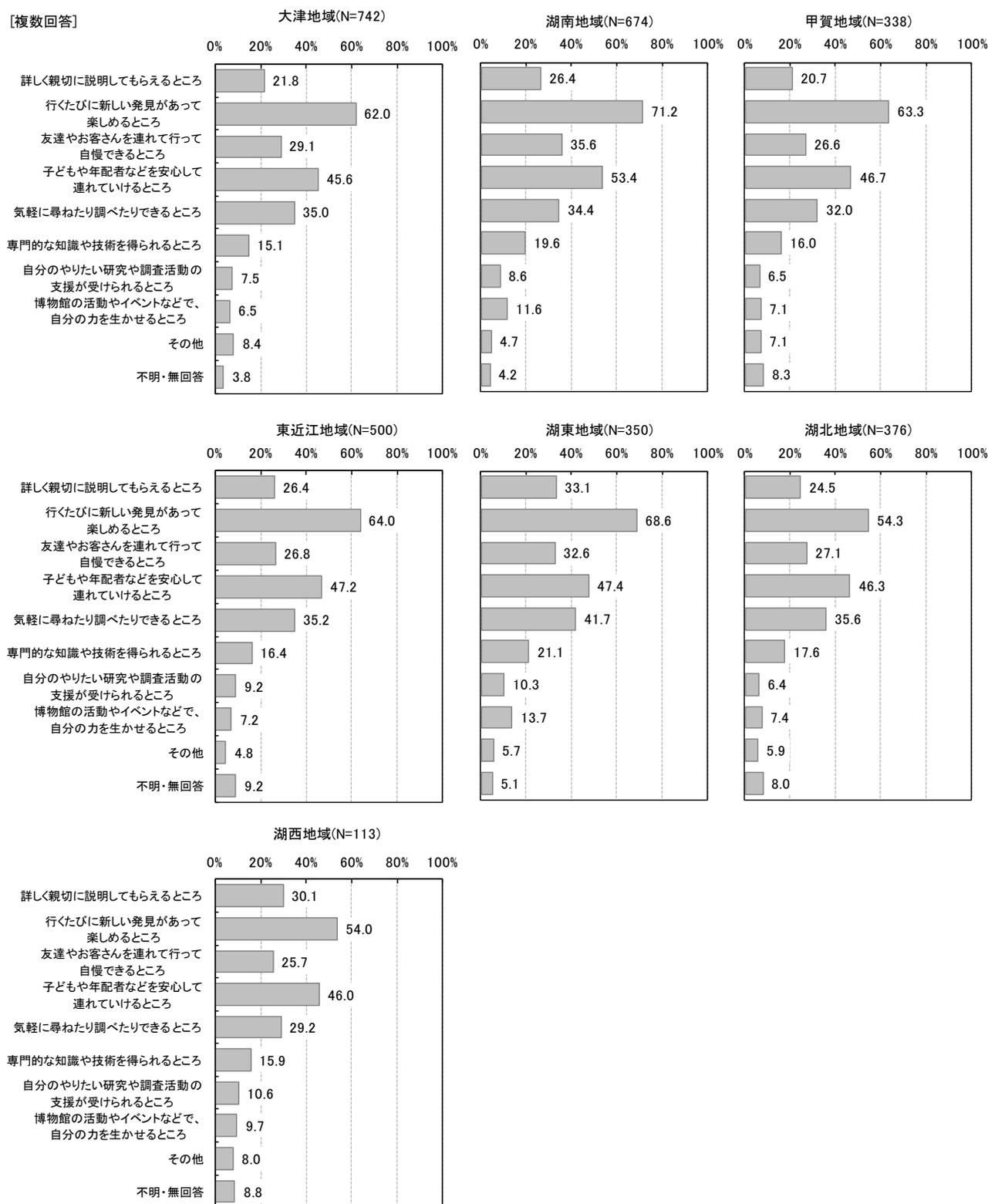
問33 「湖と人間」を県民とともに考える滋賀県立琵琶湖博物館（草津市下物町1091〈烏丸半島内〉）は今後、さらに多様な方々に、たびたび利用していただけるよう、リニューアルを順次進める計画をしています。あなたは、琵琶湖博物館がどんなところだったら、何度も行ってみたいと思いますか。（〇はいくつでも）

[複数回答]



## 【地域別】

[複数回答]



## 【性別】

[複数回答]

